



## テーマ 「お金・経済」

新NISAや新紙幣の発行など、2024年はお金に注目する機会が増える1年となりそうですね。そこでお金や経済に関する書籍を紹介します。




『マンガ&物語で読む偉人伝』  
川田夏子 (学研プラス)

今年の7月ごろから新紙幣が発行され、新たなデザインとして渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎が描かれます。それぞれどのような人物だったのか。分かりやすく紹介しています。



『データで見る日本経済の現在地』  
明石順平 (大和書房)

日本の現状が世界と比べてどうなっているのか、グラフや表を使って書かれています。賃金や物価、人口割合、労働力などさまざまな視点から“現在地”を確認してみましょう。



『ジェイソン流お金の増やし方』  
厚切りジェイソン (ぴあ)

この本は節制術や投資について書かれています。支出を減らすところから始め、余裕ができた資金を投資に回すことで資産を増やす方法が紹介されています。投資に興味がある方にオススメの一冊です。

## とっておきの一冊を紹介します

ビブリオトーク参加者  
土岐津中学校2年  
加藤 咲良さん



### きみの声を聞かせて

小手鞠るい / 著 (偕成社)

この本の主人公は2人。詩を書くことで自分を表現できる日本に住む孤独な少女。ピアニストで障害があるアメリカに住む少年。この2人はインターネットを通して出会います。少女がふと出会ったのは、少年が作曲したピアノの独奏。不思議で儚くて、とても美しい曲でした。そして少年が出会ったのは、少女が書いた寂しく、悲しい、だけど繊細で優しい詩でした。2人は互いの作品に惹かれ合い、ネットを通じて詩と音楽を交換し合います。しかしこの2人は見えない傷を持っています。それでも2人は自分の詩とピアノで必死に自分たちの想いを伝え合います。時には胸が張り裂けるような辛いことがあっても、お互いを励ますように、海を渡って自分を伝え合います。そういった文字と音楽に秘められた力の大きさ心の強さを感じる一冊です。

私はこの本と出会って自分の夢に自信を持てました。ぜひ読んでみてください。



## 2月の休館日

■ 休館日

日	月	火	水	木	金	土	開館時間
				1	2	3	▶火~金曜日 10:00~19:00
4	5	6	7	8	9	10	▶土・日曜日、祝日 10:00~17:00
11	12	13	14	15	16	17	※変更があった場合は、 図書館HPやX(旧Twitter) でお知らせします。
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29			

## 図書館からのお知らせ

「大人の製本講座 御朱印帳を作ろう！」

日時 2月18日(日) 午後1時30分~4時

場所 図書館

定員 12人程度 (先着順)

持ち物 A5サイズの布2枚

申込 1月27日(土) 午前10時から電話受付を開始します。